

域内横断的な取組

福岡県

佐賀県

長崎県

熊本県

大分県

宮崎県

鹿児島県

沖縄県

データサイエンス・AI活用講座（実施要領2.（1）（3）関連）

企業や大学等から講師を招いてデータサイエンスやAIの活用についての講座を実施

- ・生徒には、活用方法についての基礎について学び、実習を伴う講座を実施
- ・教員には、カリキュラム開発や自身の授業へデータサイエンスやAIをどのように取り入れるのかを学ぶ講座を実施



1人1台端末を活用した探究活動体験合宿（実施要領2.（3）関連）

- ・近隣の大学の先生がファシリテーターとなり、高校生が学校や学年の枠を越えて、議論し答えのない問題について最適解を探す「課題解決型学習プログラム」を宿泊形式で実施。
（「ふくおか高校生 知の創造塾」にて一部実施）
- ・一人一台端末を活用し、議論や発表を効果的に行う。



理工系分野の魅力を伝えるフェア（実施要領2.（1）（2）（3）（5）関連）

福岡県内の会場で、次の内容を実施

- ・デジタルを活用した学習活動の取組事例発表会
- ・採択校の教師等を対象に取組事例の横断的な展開及び課題を共有する場や専門家からの指導・助言を受ける
機会の設定
- ・高校生向け 大学・企業等の体験型ブース出展
- ・教員型スキルアップ研修会

佐賀県

動画＆プレゼンテーションセミナー・コンテスト

目指す姿

学習指導要領総則では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして「**情報活用能力**」が明記されている。この能力については、「各教科等の特質に応じて**適切な学習場面で育成を図ることが重要**であるとともに、そうして育まれた**情報活用能力を発揮させる**ことにより、各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつながっていくことが一層期待されるものである」と位置付けられており、**学校教育の中で育成していく教育環境の整備が必要**である。

そのため、生徒の情報発信力を高め、Society5.0時代を生き抜くために求められる創造力を育成するための環境を整備する。

学びの場

学びを発信する場

取組内容①（実施要領2.（3）関連）

バズらせよう！あなたのアイデア！
～バズる動画＆魅せるプレゼンセミナー～

概要

- (1)対象者 県内の中高生、教職員、保護者
- (2)内 容 ショート動画作成及びプレゼンテーション技術に関する研修会

講師

- ・動画作成の専門知識を持つ講師 1 名
- ・プレゼンテーション技術に精通した講師 1 名

オンデマンド配信

教職員も生徒もいつでもどこでも視聴ができる**オンデマンド配信の環境を整備**する

学 校

総合的な探究の時間をはじめとする様々な授業、学校行事の中でセミナーやコンテストを活用し、**児童生徒の情報活用能力を授業の中で育成**する

取組内容②（実施要領2.（4）関連）

バズらせよう！あなたのアイデア！
～30秒で魅せる高校生活CM&プレゼンコンテスト～

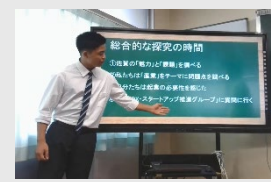
応募概要

- (1)対象者 県内の高校生
- (2)募集内容 「高校生活の輝く瞬間をPRするCM動画」
「CM作成のコンセプトを盛り込んだプレゼン」

応募作品（イメージ）



+



TikTok等で作成したCM動画とCMのプレゼンを総合的に審査

広報



大型商業施設でコンテスト実施
生産物販売会同時開催



デジタルサイネージでの放映

**セミナーでの学
びをコンテスト
で発信**

学びを深化



現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の根本強化が必要であり、特に成長分野の一つである宇宙工学について、人材育成が急務である。

事業内容

明治7年、はじめて金星の日面通過を観測した宇宙先進県長崎の高校生の手で、超小型人工衛星を、設計・製作し、軌道投入・運用・軌道離脱の過程を通じて、宇宙人材を育成する。これらを通じた参加生徒の協働・調整の力、課題解決能力、自己効力感、他者意識を持った表現力、プログラミング的思考等の涵養、および宇宙工学の最新の技術情報に触れることによる興味関心の向上がおもな目的であり、**域内のデジタル人材育成**につなげたい。

対象

生徒：長崎県内の高校1・2年生（30名）
教員：希望者

参加方法

希望者は学校を通じて申し込む

生徒へ貸与するもの

高性能PC（1人1台）、通信機器（1校1台）、マイコン・センサ・電子工作部材一式、AdobeCCライセンスなど

取組み内容

イベント

I キックオフミーティング （7月県庁）1泊2日

実施要領2. (1)(2)(3)(5)関連

- 基調講演・講義（マイコン・センサ・プログラミング、無線通信、超小型衛星活用、課題解決学習）
- 教員交流・生徒交流

II スペースキャンプ （8月北九州）3泊4日

実施要領2. (1)(2)(3)(5)関連

- 講義（超小型衛星開発法、安全試験、システム工学、AIを活用した画像認識技術）
- 教員交流・生徒交流

III Mission定義審査会（12月県庁）

実施要領2. (1)(2)(4)(5)関連

- 教員交流・生徒交流
- Missionコンテスト

学校において

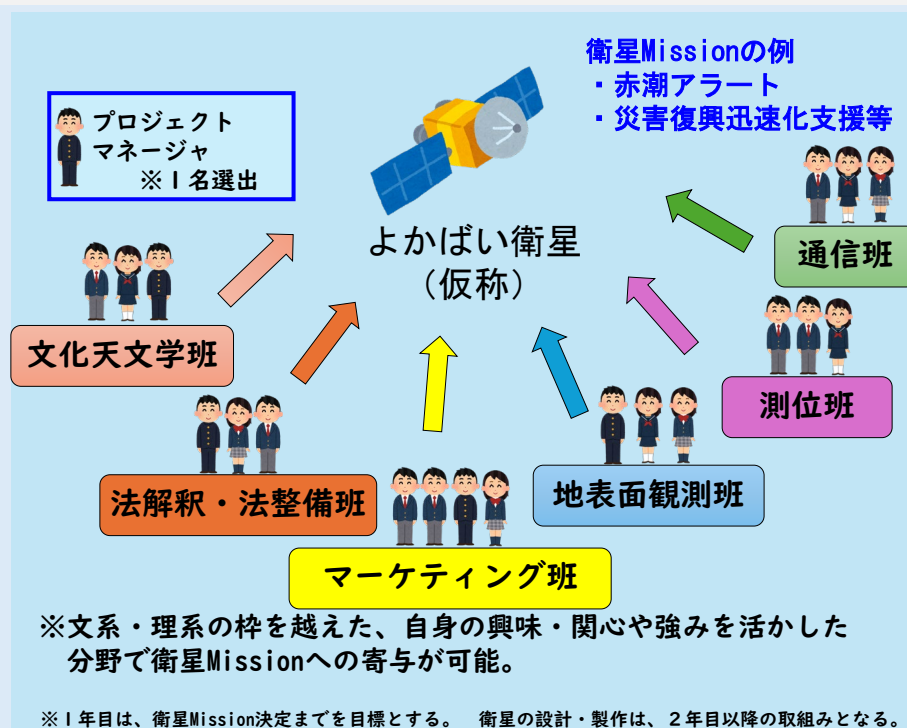
講義・オンデマンド教材・A Iドリル・オンライン指導をもとに学びを深める。

実施要領2. (3) (5) (6) 関連

- マイコン・センサ・プログラミング技術の習得
- 無線法規・無線工学の学習
→無線従事者国家資格を取得
- エネルギー収支、熱収支計算や姿勢制御・軌道計算等シミュレーション技術の学習
- 衛星設計コンテストやSat甲子園など各種コンテストへの参加

イベントと学校での学びの往還を通じて、域内のデジタル人材育成を目指す

**域内の
デジタル人材育成**



- 校内に施設や指導可能な教員の不在で活動したくてもできない生徒や、未経験、専門外などの理由で、指導したくてもできない教員などの困り感を解消するきっかけとしたい
- 将来的に、長崎県全域での自走可能なデジタル人材育成のモデルとなるような取組みを実施したい

熊本県

自らの可能性を拓け、未来を切り開く 熊本の人づくり
(DX関連人材育成のための学びの推進)

教員の指導力向上(実施要領2.(1))

【目的】

生成AIの活用に重点を置いた研修を通して、教員の校務改善力、情報Ⅱ等の指導力を高める。

【取組】

- 情報科採用教員対象の情報Ⅱに関する研修の実施
- A Iリテラシー向上研修の実施



連動

生徒の資質・能力の育成(実施要領2.(3))

【目的】

プロダクト開発を通して、生徒の生成AIを活用するための資質・能力を育成する。

【取組】

- 生成A Iを活用したデジタル人材育成講座の実施



県内高校等への情報共有

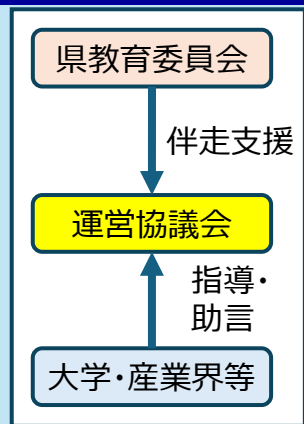
採択校への伴走支援(実施要領2.(5))

【目的】

県教育委員会から採択校を支援し、採択校の取組充実を図る。

【取組】

- D Xハイスクール運営協議会の設置
- 大学教員や産業界等からの採択校への指導・助言



成果の普及(実施要領2.(2),(4))

【目的】

採択校の取組成果を共有し、県内高校等への横展開を図る。

【取組】

- 高校等への成果普及
- ・採択校による事例発表会の開催
- 高校生等への成果普及
- ・くまもとICTコンテスト参加
- ・県立高校 学びの祭典での発表



大分県

教員研修×生徒対象講座＝デジタル人材育成の支援

教員向け研修の充実—情報Ⅱ指導を見据えて— (実施要領2.(1) 関連)

<目的>

- ・情報Ⅱ等の授業（データサイエンス、プログラミング等）を想定した講義・演習の機会を提供することを通じて、教員の指導力向上を図る。

<対象>

- ・DXハイスchool採択校を含む県内高校教員を対象として、対面研修で実施

<内容>

- ・データサイエンス入門
- ・情報システムとプログラミング
(いずれも、講義・演習形式で実施)



画像はイメージ

生徒対象講座の充実—生成AIを中心に— (実施要領2.(3) 関連)

<目的>

- ・探究的な学びを支える情報ツールである生成AIを活用する機会を想定した研修を提供することを通じて、生徒の実践力向上を図る。

<対象>

- ・DXハイスchool採択校を含む希望する県内高校生が自宅等でオンラインまたはオンデマンドで受講。

<内容>

- ・生成AIリテラシー
- ・生成AI入門
(いずれも、講義・演習形式で実施)



画像はイメージ

相互作用

採択校間の連携
取組の波及

DXハイスchool研究協議会

(実施要領2.(2) (5) 関連)

<対象>

- ・DXハイスchool採択校

<内容>

- ・各校取組事例の発表
- ・採択校間で課題を共有、課題解決に向けた協議
- ・大学教員等の専門人材からの指導・助言
- ・採択校の取組状況を把握



画像はイメージ

大分県のデジタル人材育成

—目指す生徒像と取組による効果—

目指す生徒像

- ・デジタル技術を活用して新たな価値を創造し、未来を切り拓く力を備えた人材

取組による効果

- ・デジタル人材の素養を持つ生徒の増加
- ・「総探」×「情報Ⅱ等の学び」を推進できる教員の増加

DXハイスクール指定校を核としながら、その取組を域内に「**拡げる**」教員を育成するとともに、域内全ての生徒を対象に学びを「**深める**」。また、既存のコンソーシアムと連携することにより、宮崎が求めるデジタル人財育成に向けた活動を「**支える**」。

教員向けプログラム 実施要領2.(1)(2)(5) **拡げる**

情報Ⅱ等の授業（データサイエンス・AI,デジタルを活用した探究活動）に関する指定校教員向けプログラム

【黄色部分】所要経費が該当する取組

- 教員向け研修会の実施（対面／オンライン）
- 情報Ⅱ等学習テキストの配布（R6作成済み）
- 学校訪問等による個別支援
- 担当教員ネットワークの構築
 - ・情報共有SNSの運用
 - ・専用ポータルサイトの開設



活用

指導

生徒向けプログラム 実施要領2.(3)(4) **深める**

情報Ⅱ等の学習（データサイエンス・AI,デジタルを活用した探究活動）に関する域内全ての生徒向けプログラム

【黄色部分】所要経費が該当する取組

- 生徒向けセミナーの実施（対面／オンライン）
- DX体験学習の実施（県内IT企業等と連携）
- 「ひなたDXコンテスト」の開催
- オンデマンド教材の共有
（データサイエンス・AIの領域について
大学教授等が解説した動画教材）



専門的な知識・技能の共有



デジタル人財育成の支援

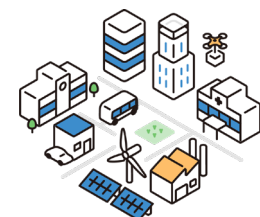


宮崎県デジタル人財育成コンソーシアム 実施要領2.(6)

高等教育機関、企業、自治体等が対話と各自の強みを活かして一体的に取り組むための域内コンソーシアムを構成し、デジタル技術の普及・浸透・質的向上の推進するとともに、地域課題の解決や地域創生に貢献する人材を共に育成する。

※令和5年5月に設立

- 各種プログラムにおける活動支援ならびに指導助言（教材の提供、研修や訪問の受入 等）



支える

鹿児島県

未来を創るかごしまDXハイスクール

取組内容①（実施要領2.（1）関連）

- ・教科「情報」等担当者研修（集合研修）を実施し、教科「情報」及び情報教育に係る指導の充実を図る。
- ・夏季休業期間中に、プログラミング等のオンライン研修を実施し、プログラミング等についての理解を深め、指導の充実を図る。



相互作用

取組内容②（実施要領2.（3）関連）

- ・オンライン会議システムを利用して遠隔地にある学校と外部の専門講師を結び、双方向のプログラミング等の課外授業を実施する。



相互作用

域内のデジタル人材育成



助言・連携ポイントの提供

取組内容③（実施要領2.（4）関連）

- ・鹿児島県内の公立・私立高等学校における高等学校DX加速化推進事業に係るDX推進の取り組みを共有し、教育現場でのDXの実践と研究成果を発表し、外部有識者からの講評及び講演を実施する。



取組内容④（実施要領2.（5）関連）

- ・本事業に関する取組状況の確認及び必要な支援を行うために各採択校を定期的に訪問し、指導助言や情報提供等の必要な支援を行う。

DXハイスクール推進事業に係る支援のための訪問 チェックシート

項目	項目	チェック項目	確認
1	全体的な事業の進捗度	概ね、事業計画書に記載のとおり、計画は順調に進んでいるか。	☐
2	今年度の予算	今年度の予算の執行状況はどうか。概ね執行はできているか。近日常に執行状況調査を行う予定。予算は概算でしかなく、早急に執行を。金額が大きい場合は事業計画変更を要する場合はどうか。	☐
3	整備ハード	具体的にどのような機器（ハード）を整備しているか。また、その活用状況はどうか。実働の確認。タブレット端末の活用と併せて相乗効果を生むような取組を。	☐
4	整備ソフト	具体的にどのようなアプリケーション等（ソフト）を整備しているか。また、その活用状況はどうか。実働の確認。	☐
5	情報発信	本事業に係る取り組みについて、積極的に情報発信しているか。このことは文部科学省からも求められていることであり、最終報告にも関わってくる。学校HP、ブログ、SNS等。DXハイスクール記事掲載報告書で報告。令和6年4月1日付け「高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金の取扱い等について（依頼）」新聞記事掲載、学校通信等。	☐

沖縄県

関係機関と連携した人材育成（案）

取組内容④（実施要領2.（5）関連）

TeamsとGoogleサイトを活用し、
採択校間の課題共有と取組事例の
横展開を行う。
取組内容⑤の**連携を活用し、**
大学教員等の専門人材から
の指導助言を実施する。



助言

取組内容⑤（実施要領2.（2）関連）

県内大学・専門学校・企業と連携
し、デジタル人材の育成と大学理系
学部進学者増を目的とした**連携体**
制を整える。
協議会や全国情報教育地区大会
に併せた取組事例発表会を行う。



域内の デジタル人材育成

取組内容③（実施要領2.（4）関連）

アイデアソン、ハッカソン、全国情報教育地区大会
の3大会を実施※ハッカソンは事前WSを生徒教師
双方に実施し全体のプログラミングスキル向上を図る

取組内容②（実施要領2.（3）関連）

- ・AI講座 ・ホワイトハッカー講座
 - ・情報セキュリティ講座
 - ・ドローン体験講座
 - ・プログラミング講座
- 高度な内容に触れ、大学理系
学部進学の**動機付け**を図る



相互
作用

取組内容①（実施要領2.（1）関連）

- ・AI研修 ・ホワイトハッカー研修
 - ・情報セキュリティ研修
 - ・学校DX戦略コーディネータ概論
他
- 専門性の向上**のための教師研修
を大学・専門学校と連携し実施

